

俣郷

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

目標をもつ大切さ

日中は初夏を思わせる陽気になってきました。沖繩は梅雨に入ったということも聞きます。

これから雨が多くなりますと、登下校が心配になります。前方が見にくかったり、警笛などが雨の音にかき消されたり、持ち物に傘が増え素早い動きができなかったりと、心配なことがたくさんあります。「自分の命は自分で守る」ことを基本に、危険を察知する能力、危険を回避する能力を高めていかなければいけないと思います。

先日中間テストが終わりました。結果はどうだったでしょうか？

5月22日には生徒総会、6月7日から地区中体連大会があります。生徒会やそれぞれの部活動で成果をだすために、準備や練習に一生懸命がんばっています。

平成25年のデータですが、ある会社が行った「日本人の夢調査」によると、「私は夢をもっている」と答えた人が、10代・20代で80%、30代74%、40代69%、50代75%だったそうです。中でも、新成人で夢をもっていると答えた人は約85%に上ったそうです。夢をもてない若者が増えているということも聞きますが、この結果を見るとそうでもないのかなとも思います。

夢や目標は人間に大きな力をくれます。そして行動が起こります。実現するに越したことはないでしょうが、それより、そこに向かうプロセスや実現に向けてあきらめない気持ちがとても大切だと思います。

「近くの目標には全力で、遠くの目標には忍耐をもって」。雨に負けず、夢に向かおう！

《小中合同PTA運営委員会》

13日にふるさとセンターでPTA運営委員会が行われました。小中合同→小中別で行いました。

今年度の事業計画の確認が主な内容でしたが、今後の須木地区のPTA活動のあり方や学校そのもののあり方など、今後も継続して考えていかなければならない内容もありました。

事業の具体的な肉付けは、それぞれの専門部会で行います。役員だけではなく、すべての保護者の皆さんに関わっていただき、新しいアイデアを出し合いながら、PTA活動を盛り上げていきたいと思えます。

須木地区のユニークな取組で、「学力向上委員会」があります。家庭でも学習習慣や学習環境を整えようとするものです。すばらしい取組だと思います。ご協力よろしくお願ひします。

《応募作品続々 2!!!》

- 野田 悠太君 (学園俳壇)
- 井上 伸悟君 (学園俳壇)
- 金丸 滯莉さん (学園詩壇)
- 西岡 陸君 (学園歌壇)
- 久保田 沙矢さん (学園俳壇・詩壇)

特集を組んでこの通信で全作品を紹介します。

《保護者の意識と学力の関係》 抜粋

～平成25年度全国学力調査の結果分析から～
保護者が以下のような行動をしている方が、子どもの学力が高い傾向にあるそうです。

- ① 生活習慣に関する働きかけ
 - 毎日決まった時間に寝る、起きるようにしている
 - 毎日朝食を食べさせている
 - TVゲームで遊ぶ時間を限定している
 - 携帯電話等の使い方に関するルールや約束をつくっている
- ② 読書に関する働きかけ
 - 本や新聞を読むようにすすめている
 - 読んだ本の感想を話し合ったりしている
 - 小さい頃本の読み聞かせをした
- ③ 学習に関する働きかけ
 - 子どもの勉強を普段見ている
 - 計画的に勉強するように促している
 - 子どもが英語や外国の文化に触れるよう意識している
- ④ 子どもとのコミュニケーション
 - 子どもと、学校での出来事、勉強や成績、将来や進路、友達のこと、社会の出来事やニュースについて話をする